

## あじさいレース 6月20日



IRC優勝  
EMI

オープンクラス優勝  
TWO TON



海燕2



チビズル



TOTORO



ヒート  
ウェーブ



### IRCクラス優勝 EMI

EMIクルー 清水

朝梅雨の曇りの中出艇すると、沖合いでは結構な南風がふいている。No3でスタート。本部艇も風で流される中、アウトスタートが有利であった。その後ますます風が上がり、下りレグもジブでの一本下り。レース中も本部艇は流れ続け、現位置維持に苦勞する程の強風。なかなかハードなレースであったが、学ぶべき点が多かった。



### オープンクラス優勝 TWO TON

TWO TON 佐藤明

梅雨入りで雨の予報だったが、幸いにも曇りとなりカッパを着らずに済む。スタート前は微風であったが南から徐々に上がりスタート時は20ノットに達していた。ヘッドセールはNO3にセットしリードアングルなどをチェックし艇速を確かめる。



最初ラインが少し狭いように感じたが、本部船が少し流れているように感じ、アウトターでのスタートで決める。予想的中しモイチで最高のスタートでフリートを大きくリードする。風は息をつくがMAXで30ノット。艇速は6ノットで落とし気味に上マークを狙う。EMIがすばらしいスピードで上マークを先行回航する。2番手回航するが腰痛のフォアデッキ担当のためスピンをあきらめた。フリーのレグ走る艇速は時折8ノットに達する。湿気が多いが風が強いためか快適なセーリング、加えて後方から追従する他艇を見るのは心地よい。結果その後もミスなく走りフィニッシュする。第2レースを始めるころよりさらに風速があがり1レースのみで終了した。強風のレースはダイナミックな走りに新人クルーは喜んでた。

# あさがおレース7月11日

優勝  
オープンクラス

強烈なブローを受けてコントロールが困難になっているチビズル

## IRC優勝 EMI

EMIクルー むらた

「こんなに興奮したのは久しぶりやなあ！」30ノットを超える風が吹くなか、フィニッシュラインを一位通過したEMI艇のヘルムスマン宝迫オーナーの第一声である。スタート直前まで迷ったヘッドセイルの選択は、風が少し落ち着くのでは？という予測と楽観のもとにナンバー2を揚げたのですが、いかんせん風は吹き上がるばかり...

吹きさらしの海面、オーバーキャンバスの洗礼を受けた男達の顔には、もはや苦笑いしか浮かびません。セイルチェンジの機会も得られない早い展開のレースでしたが、大きなトラブルにも見舞われずフィニッシュできたのは何より幸いでした。

コミッティーの皆さん、荒天下のレース運営お疲れ様でした。



キラキラ  
スプレーを上げる



うねりを切り裂くTWO TON

強風の中豪快な走りを見せてくれたチビズル



ド迫力でうねりを切り裂く海燕2



強風の中各艇一斉にスタート

強烈なブローを受け大きくヒールするIRC優勝EMI



# 国際交流体験セーリング

7月4日



ドキドキしながら出艇を待ちます



交代で舵を持ちセーリングを楽しみました

7月4日に大平元会長が協力している和歌山ボランティア組織（KNOW）の体験セーリングが実施され、多数のクラブ艇が協力しました。

セーリングの後バーベキューで盛り上がり、その後行われたベリーダンスと紀州連の阿波おどりに飛び入り参加したりして大いに楽しみました



あゝあ！ 皆さんお疲れなか、微風で気持ちよかったです



元気に楽しむ人も

## あじさいレース成績表

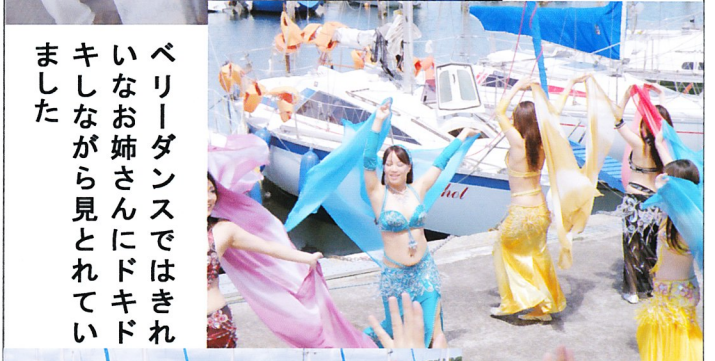
クラス	艇名	艇種	着順	修正順
IRC	EMI	Mumu36	1	1
IRC	チビズル	SEAM31	3	2
IRC	Ryusei-6	FARR-34IMS	2	3
IRC	star of bethlehem	SEAIS-R34A	4	4
OA	TWOTON	J92j	1	1
OA	響	Y262T	4	2
OA	海燕II	X-99	2	3
OA	Totoro	Y-23 II	5	4
OA	HeatWave	Farr-25PL	3	5

## あさがおレース成績表

クラス	艇名	艇種	着順	修正順
IRC	EMI	MUMM36	1	1
IRC	TIBIZULL	SEAM-31	DNF	
A	HIBIKI	YAM262S	2	1
A	TWOTON	J-92	1	2
A	KAIEN2	X-99	DNF	
A	KIRAKIRA	YAM-31S	DNF	
A	HEATWAVE	PLT25	DNC	



セーリングの後はみんなだバーベキュー



ベリーダンスではきれいなお姉さんにドキドキしながら見とれていました



最後に阿波おどりを楽しみました。

# トワイライトレース

7月24日



イーゼル芸術工房の生 JAZZ 演奏。



カメラに向かってニッコリ！  
微風でもそれなりに楽しんでる人も

## レポート【EMI】 YATO

夏の日中は暑すぎるので、夕暮れの涼しい時にヨットレースをしてその後みんなでパーティをしましょう！というヨットクラブの素晴らしい企画。

スタートは夕方4時。しかし風が無くキラキラ輝く太陽に肌がジリジリ焼ける。ともかく早くビールを飲み体温を下げたい！ カキ氷が食べたい！と思いながら30分漂ったところで我々は早々とリタイヤ宣言。

エンジンをかけて走るとわずかな風だが、肌の表面熱を奪ってくれるのがわかる。

港に帰りまた乾杯！

レースコミッティーのアプローチ&響さんが一生懸命作ってくれた手料理にみんな群がり食いまくり、パーティの締めは「イーゼル芸術工房」の生 JAZZ 演奏。

彼らが学生の時に始めて出会いそれからの付き合い。音に磨きがかかったのはもちろんのこと、一人一人が人間として成長しているように感じた。

不景気真っ只中の日本でも、このような夢を追いかけている若者集団があるという事が救いに思える今日この頃、これからも応援していこう！！

そして、次回は風を期待して！！



この風ではどうしようもなくセールを早々降ろし始める



シャークスも久しぶり姿を見せてくれました



淡輪寄港中のアメリカ艇マイケルさんも参加(マイケルさんの記事は次号に掲載予定)



協会のレンタル艇  
ビーチボーイも参加

久しぶりに姿を見せた  
汐風



手作りの料理が並び大いに盛り上がりました